

2年	単 元 名	気象現象の説明書をつくろう
(教科)理科		

1. 単元の見目

興味をもった気象現象について情報をわかりやすくまとめ、人に伝えることができる。

2. 学校図書館活用のポイント※目標との関連も踏まえて

授業で学習し、興味をもった気象現象についてあたえられた資料から情報を人にわかりやすくまとめる。授業ではくわしくふれることができなかった内容を知ることでさらに気象現象への興味を高める。

3. 授業での活用場面

学習活動	学校図書館の関わり
○導入(5分) ・単元で学習した自然現象について振り返り、本時の学習内容(レポート作成について)の説明を聞く。 ・レポートテーマ例: 風、日本の天気の特徴、台風、湿度、雲、雪、雨など ○作成(35分) ・自分の決めたテーマにそってレポート作成を行う。 ・人にわかりやすくまとめるように伝える。 ・調べた資料の出典を記入するように伝える。 ○まとめ(10分) ・各グループで回し読みをし、友達が調べた内容について共有する。 ・今回の本を活用しての授業の感想をまとめる。	事前に司書さんに学習に使用する本のリストを作成してもらい、そのリストを見ながら本を選定する。 本から自分のまとめたいテーマを見つけ出す。 調べ学習。

4. 考察（成果や課題等）

授業で学習した内容や日常生活の中で知っている気象現象について生徒自身がテーマを決め、意欲的にまとめることができた。情報をわかりやすくまとめるためにどのようにすればよいかということは友達のレポートを読むことによって感じている生徒もいた。短時間での作業であったため内容がやや少ない生徒もいた。2時間展開で行うことやワークシートの改良が必要だと感じた。司書さんに豊富な資料を集めていただき、リスト作成までしていただいたことでスムーズに学習に取り組むことができた。